

中野市国民健康保険事業の運営に関する協議会 会議録（要約）

日 時	令和7年8月21日（木） 13：40～14：40
会 場	中野市役所5階 会議室52、53
出席者	<p>【委員】 酒井委員、浜中委員、山口委員、池田委員、北村委員、飯田委員、熊木委員、畔上委員、夏目委員、矢野委員、岸田委員、坂口委員、浅野委員、仁科委員、神戸委員、品田委員</p> <p>【市（事務局）】 くらしと文化部長、市民課長、国保年金係長、国保年金係員、健康づくり課健康管理係員、高齢者支援課介護予防包括支援係員</p>
欠席者	なし
次第	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 会長、副会長の選出について (2) 議事録署名委員の指名 (3) 中野市国民健康保険事業の運営状況について (4) 令和6年度中野市国民健康保険事業特別会計決算について (5) 中野市保健事業実施計画等について (6) 中野市高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業について 4 その他 5 閉会
資料	資料1 中野市国民健康保険事業の運営状況について 資料2 令和6年度中野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について 資料3 中野市保健事業実施計画等について 資料4 中野市高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業について

1 開会

(市民課長)

2 あいさつ

(くらしと文化部長)

3 協議事項

- (1) 会長、副会長の選出について
会長に酒井委員、副会長に浜中委員で決定される。

- (2) 議事録署名委員の指名
会長から、北村委員、岸田委員が指名された。

- (3) 中野市国民健康保険事業の運営状況について

【事務局】

(資料1を説明)

【委員】

1 ページ (1) 加入率の推移について、加入率算出の根拠数値(分母)を教えてください。また中野市が19市で一番加入率が高い理由はなんですか。

【事務局】

1 ページ (1) 加入率の根拠数値(分母)につきましては、当該年度中の1月1日の人口となっています。令和5年度は42,586人、令和6年度は42,162人となります。

他市に比べ中野市の加入率が高い理由につきましては、農業が盛んな地域でもあるため自営業の方が多いため理由の一つではないかと考えております。

【委員】

中野市の税率について、毎年資産割を減らすことで、他にしわ寄せがいかないのか心配です。また毎年税率を改定してきているのは、やはり県の方針に合わせるためですか。

【事務局】

資産割を減らす代わりに、所得割や応益割も改定してきています。県の統一目標では、応能割、応益割の比率をおよそ5対5の基準としており、中野市も徐々に県の基準に近づけていかなければいけないと考えていますが、令和7年度につきましては、所得の低い方の税負担を考慮し、およそ6対4の比率で設定しています。

【委員】

できるだけ、所得の低い方に配慮した税負担になるよう要望します。

【委員】

国保税滞納者について、滞納の理由は様々あると思うが、どんな対応していますか。

【事務局】

滞納理由は、生活困窮、所在不明、財産無しなど様々ありますが、所在不明、財産無し

の滞納者については、調査など手を尽くしても回収の見込みがないものについて不能欠損を行っています。税務課では収納率向上のため、新たな滞納者を増やさないことや、積極的に滞納処分を行うことを心がけながら滞納整理に取り組んでいるところです。

【委員】

一人当たりの医療費について、伊那市、塩尻市は減っていますがこの差はわかりますか。

【事務局】

減っている他市の状況は分かりかねます。

【委員】

減っている他市と情報共有していただき、医療費が減るよう今後も努力していただければと思います。

【議長】

貴重なご意見として承り、事務局側は、県内都市国保事務研究協議会や研修会等で情報交換していただければと思います。

(4) 令和5年度中野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について

【事務局】

(資料2を説明)

【委員】

歳出3国民健康保険事業費納付金とはなんですか。

【事務局】

平成30年から県が経営の主体となり、毎年県で算出している金額となります。所得水準、被保険者数、世帯数、医療費水準を基に算出されています。

(5) 中野市保健事業実施計画等について

【事務局】

(資料3を説明)

【委員】

特定検診の集団検診の会場を減らした考えをお聞きしたい。

【事務局】

会場集約化の理由としましては、まず本市は県内でも飛び抜けて検診会場が多いこと、また公民館等クーラーの無い会場があること、また近年、検診車が大きくなり、駐車場が狭く駐車が困難な会場や、私有地を借りて駐車しなければならない会場もあります。地元区長さんとも相談し、検診会場の集約化がされても、できるだけ近い会場になるよう配慮しました。それでも会場が遠い方につきましては送迎バスを手配しました。しかし実際にバスを活用された方は非常に僅かでした。

今後、集団検診の受診率を比較しながら検討を行いますが、その他、個別検診の実施化に向けて現在医療機関と調整を図っているところです。

(6) 中野市高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事情について

【事務局】

(資料4を説明)

【委員】

18ページ(2)通いの場へ積極的関与等とありますが、具体的に中野市の事例やどんな会があるか教えてください。

【事務局】

主には、高齢者支援課で行った教室の卒業者で、卒業後自主的に集まって活動や運動をしているグループが、市内に25グループあります。そこに専門職を派遣しまして活動の支援や健康づくり、体力測定を行い、健康づくりに役立てていただいている状況です。

【委員】

どんな人が中心になっているのですか。

【事務局】

主には市で行った介護要望教室の卒業生です。活動場所は中央公民館のような市の公民館や、地元区の公民館で活動しているグループなど様々です。

4 その他

(委員さんからは無し)

5 閉会

終了 14時40分